

【事務事業名】 <b>雨水の地下還元事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 1 自然環境 (1) 自然の保護と回復	【開始年度】 平成7年度
【主管部課】 環境安全部環境保全課 他		

【実施根拠】 なし	【事業目的】 地下水のかん養及び湧水の保全と回復に資する。併せて、市民への意識啓発を促す。
--------------	--

【類似・関連事業】 なし	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 環境問題に関して市民が非常に関心が高いことから、市民自らが行える自然環境保全のひとつの方法であり、市民の意識啓発を促す良い施策である。 なお、雨水浸透施設設置補助事業については、同様の事業が、都内26市中16市で実施されているところである。
-----------------	--

【事業の概要】 (事業費及び特定財源 / 単位: 千円)

主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分				
雨水浸透施設設置補助事業	111	0	0.2	雨水浸透施設(基)	2	55,250	自	任	単	補
歩車道の浸透性舗装	161,496	0	0.3	浸透性舗装(m)	3,664.2	44,074	自	任	単	直

雨水浸透施設設置補助事業: 雨水浸透施設設置にあたり、費用の2分の1を助成する。  
雨水浸透ます / 300X500 26,000円X2基 = 52,000円 雨水浸透トレンチ / 3.25m(径100mm)X2本 = 58,500円  
この他、公共施設に雨水貯留槽を設置する、道路に浸透性舗装を導入するなど行っている。

【運営上の課題】 目的は異なるものの治水対策として、中高層建築物及び開発行為において、下水道課で雨水浸透施設の設置を義務付けている。しかし、水循環という観点からみると効果は同じであり、実績(18,000基)から見ても当該事業をひとつの課で行ったほうが効率的である。
---

【評価指標】

基本指標(単位) = 雨水浸透ます設置基数(基)				参考指標(単位) = 歩車道の浸透性舗装(m)			
	13年度	14年度	15年度		13年度	14年度	15年度
目標達成率	48.0%	8.0%	0.0%	目標達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
目標値	25	25	12	目標値	-	-	4300
実績値	12	2		実績値	4498.2	3664.2	-
【指標の考え方】 雨水の地下還元事業の効果を計る上で、雨水浸透ますの設置基数の推移に着目することが適当である。				【指標の考え方】 雨水の地下への還元や下水管の負荷を軽減するなど、環境などに配慮した事業であるため、参考指標として適当である。			
【目標値の設定根拠】 経年実績により算出				【目標値の設定根拠】 平成15年度数値は、見込み。			

【視点別評価】

1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3: 達成している 2: 一部達成していない 1: 達成していない	3: 妥当な水準 2: 一部妥当でない 1: 妥当でない	3: 適応している 2: 一部適応していない 1: 適応していない	3: 代替可能性が低い 2: 代替を検討すべき 1: 代替可能性が高い	3: 適当である 2: 一部過大・過小である 1: 過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)	
評点	年2回広報紙に記事を掲載するほか、建築確認時にパンフレットを配布する、下水道指定工事店に事業説明を行い協力を依頼するなど、様々な方法で事業のPRを行っているところであるが、実績が伸び悩む状況にある。 しかし、環境問題に関して非常に関心が高い現状では、市民自らが行える自然環境保全のひとつの方法であり、この事業を更に拡大していくことが、地下水の涵養にもなり、また、市民の意識啓発を更に促すことになる。
5	

5: 拡大して実施すべきである 4: 現状維持で実施すべきである 3: 規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2: 再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1: 廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】

環境問題に関して市民が非常に関心が高いことから、当該事業を継続、拡大していくことが、市民への啓発及び環境保全に適合している。

【事務事業名】 <b>公園管理事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 2 公園・緑地 (1) 公園	【開始年度】 昭和45年
【主管部課】 環境安全部緑のまちづくり推進課		

【実施根拠】 なし	【事業目的】 地域に密着した公園は、地域のコミュニティーの場として活用できるよう、清掃などを通して自主管理を推進することを目的とする。																																										
【類似・関連事業】 なし	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 特に、地域に密着した街区公園や仲よし広場については、多くの場所で地元で、清掃を実施している。																																										
【事業の概要】	(事業費及び特定財源/単位:千円)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な内容</th> <th>事業費</th> <th>特定財源</th> <th>従事職員</th> <th>実績区分(単位)及び実績値</th> <th>単価(円)</th> <th>事業区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公園等清掃業務委託</td> <td>14,220</td> <td>255</td> <td>0.7人</td> <td>清掃公園等数(箇所) 178</td> <td>79,888</td> <td>自任単委</td> </tr> <tr> <td>砂場の殺菌</td> <td>6,405</td> <td></td> <td>0.1人</td> <td>延べ利用者(人) 657,000</td> <td>#DIV/0!</td> <td>自任単委</td> </tr> <tr> <td>公共施設の安全点検</td> <td>0</td> <td></td> <td>1人</td> <td>( )</td> <td>#DIV/0!</td> <td>自任単直</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>人</td> <td>( )</td> <td>#DIV/0!</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>人</td> <td>( )</td> <td>#DIV/0!</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分	公園等清掃業務委託	14,220	255	0.7人	清掃公園等数(箇所) 178	79,888	自任単委	砂場の殺菌	6,405		0.1人	延べ利用者(人) 657,000	#DIV/0!	自任単委	公共施設の安全点検	0		1人	( )	#DIV/0!	自任単直				人	( )	#DIV/0!					人	( )	#DIV/0!		
主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分																																					
公園等清掃業務委託	14,220	255	0.7人	清掃公園等数(箇所) 178	79,888	自任単委																																					
砂場の殺菌	6,405		0.1人	延べ利用者(人) 657,000	#DIV/0!	自任単委																																					
公共施設の安全点検	0		1人	( )	#DIV/0!	自任単直																																					
			人	( )	#DIV/0!																																						
			人	( )	#DIV/0!																																						
特定財源は、公園使用料。																																											
【運営上の課題】 地元団体に委託しており、その主なところは、自治会・老人会・子供会などがあるが、このうち老人会については、高齢化による辞退が目立ってきている。																																											

評価指標

基本指標(単位) = 街区公園と仲よし広場のうち、地元団体に委託した数(箇所)	参考指標(単位) = ( )																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標達成率</td> <td>73.50%</td> <td>80.20%</td> <td>#VALUE!</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>223</td> <td>222</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>164</td> <td>178</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		13年度	14年度	15年度	目標達成率	73.50%	80.20%	#VALUE!	目標値	223	222	221	実績値	164	178		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標達成率</td> <td>#DIV/0!</td> <td>#DIV/0!</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		13年度	14年度	15年度	目標達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	目標値				実績値			
	13年度	14年度	15年度																														
目標達成率	73.50%	80.20%	#VALUE!																														
目標値	223	222	221																														
実績値	164	178																															
	13年度	14年度	15年度																														
目標達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!																														
目標値																																	
実績値																																	
【指標の考え方】 地域に密着した公園・仲よし広場は、地域住民による管理を進めること。	【指標の考え方】																																
【目標値の設定根拠】 地域に密着している街区公園と仲よし広場の箇所数を目標とする。	【目標値の設定根拠】																																

【視点別評価】

1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3:妥当な水準 2:一部妥当でない 1:妥当でない	3:適応している 2:一部適応していない 1:適応していない	3:代替可能性が低い 2:代替を検討すべき 1:代替可能性が高い	3:適当である 2:一部過大・過小である 1:過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)	
評点	地域に密着した街区公園と仲よし広場は、地元団体に委託し、より経済的・効率的に管理をしていく必要がある。
5	

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】

今後、更に地元団体に委託を拡充し、公園等の維持管理を図っていかなければならない。
--

【事務事業名】 <b>緑化活動支援事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 2 公園・緑地 (2) 緑の創造	【開始年度】 平成3年
【主管部課】 環境安全部緑のまちづくり推進課		

【実施根拠】 なし	【事業目的】 市民の緑化に対する意識の高揚を図り、やすらぎと潤いを醸成し市民の健康的な生活環境を整える。
【類似・関連事業】	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 来場者の反応は非常によく、グリーンフェスティバルにおいて行っている緑化相談、緑化講習会の人気も高い。 近隣の市町村でも同じような内容の事業を行っている。

【事業の概要】 (事業費及び特定財源/単位:千円)

主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
地域グリーンフェスティバル	1,604		0.4人	来場者 (人) 2,500	642	自任単委
植木・花卉即売事業委託	209		0人	購入者 (人) 1,000	209	自任単委
苗木・草花の頒布	1,370		0.2人	頒布数 (本) 3,000	457	自任単直
緑化啓発用草花等の配付	473		0.1人	配付数 (鉢・袋) 4,092	116	自任単直
学校・保育所種子球根配付	1,099		0.2人	配付数 (袋) 7,200	153	自任単直

【運営上の課題】  
地域グリーンフェスティバルの開催に当たって、今まで行政主導で緑化推進委員会の協力を得て事業を実施して来た。今後、緑の活動推進委員が計画から事業実施まで行う体制作りが求められる。

【評価指標】			
基本指標(単位) = 地域グリーンフェスティバル来場者数 (人)			参考指標(単位) = ( )
	13年度	14年度	15年度
目標達成率	90.9%	45.5%	100.0%
目標値	5,500	5,500	5,500
実績値	5,000	2,500	5,500
【指標の考え方】 出来るだけ多くの来場者が得られることを目標とするため。	【指標の考え方】		
【目標値の設定根拠】 ここ数年で、最多の来場者数を目標とする。	【目標値の設定根拠】		

【視点別評価】				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3:妥当な水準 2:一部妥当でない 1:妥当でない	3:適応している 2:一部適応していない 1:適応していない	3:代替可能性が低い 2:代替を検討すべき 1:代替可能性が高い	3:適当である 2:一部過大・過小である 1:過大・過小である

【総合評価】	
第一次評価(主管部課)	
評点	緑化に対し市民の関心は高い。緑化を推進するため市民が緑に接する機会を提供するため、現状維持で実施する必要がある。フェスティバルの企画運営を今後、緑の活動推進委員会が中心となり行っていく必要がある。
4	

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】  
フェスティバルは、委員会に事業委託をしているため、委員会に事業運営をまかせる。

【事務事業名】 <b>地球温暖化防止事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 3 生活環境 (1) 地球温暖化の防止	【開始年度】 平成12年度
【主管部課】 環境安全部環境保全課		

【実施根拠】 地球温暖化対策の推進に関する法律第8条に定められている「温室効果ガスの排出の抑制のための措置に関する計画」に該当する。	【事業目的】 府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全の推進を図ることを目的とする。
【類似・関連事業】 国の温暖化防止計画等	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 当該事業をもとに、平成14年2月22日にISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得した。環境に配慮する仕組みを推進し、各取組みについて進行管理する。

【事業の概要】 (事業費及び特定財源 / 単位: 千円)						
主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
環境マネジメントシステム運営	2,570		1人	環境研修等(式)	1	2,570,000
			人	( )		#DIV/0!
			人	( )		#DIV/0!
			人	( )		#DIV/0!
			人	( )		#DIV/0!

府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全の推進を図るため、府中市職員エコ・アクションプラン(府中市職員による環境負荷低減に関する率先実行及び地球温暖化防止計画)の実施及び運用に関する推進事業。

【運営上の課題】  
各課の取組み及び職員の環境意識に温度差があるなど、継続的改善に向けて意識向上を図るため、今後も職員研修等の意識改革が必要。ただし、職員の積極的な取組みにも限界もあり、構造的な改善が必要。

【評価指標】							
基本指標(単位) = 二酸化炭素に換算した排出量の削減(%)				参考指標(単位) = ( )			
	13年度	14年度	15年度		13年度	14年度	15年度
目標達成率	390.0%	0.0%	0.0%	目標達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
目標値	1	2	3	目標値			
実績値	3.9			実績値			
【指標の考え方】 本事業は、二酸化炭素に換算した温室効果ガスの排出量を削減することを目的とした事業であるため。				【指標の考え方】			
【目標値の設定根拠】 市の事務事業に伴う、二酸化炭素の排出量を削減するため、府中市職員エコ・アクションプランでは、平成11年度を基準値に平成17年度までの5年間で5%を削減することを目標としている。				【目標値の設定根拠】			

【視点別評価】				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している	3:妥当な水準	3:適応している	3:代替可能性が低い	3:適当である
2:一部達成していない	2:一部妥当でない	2:一部適応していない	2:代替を検討すべき	2:一部過大・過小である
1:達成していない	1:妥当でない	1:適応していない	1:代替可能性が高い	1:過大・過小である

【総合評価】	
第一次評価(主管部課)	
評点	地球温暖化防止対策は、地球規模の環境問題として、職員一人ひとりの環境意識を改革させることや、市は市民や事業者の先導的な役割もつ立場であり、今後も取り組みの継続的改善が望まれるために必要な事業である。
4	

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】  
環境基本計画に整合した施策を展開させ、職員の環境への意識改革を含めて、地球環境保全への取組みを継続的に改善していくことが必要。

【事務事業名】 <b>大気汚染対策事業</b>		【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 3 生活環境 (2) 公害	【開始年度】 昭和46年度
【主管部課】 環境安全部環境保全課			

【実施根拠】 なし	【事業目的】 公害防止指導対策に必要な基礎的データを得ることを目的とする。また、ノーカーデーの実施、アイドリングストップ運動を進めて、自動車の排出ガスの低減に努める。
【類似・関連事業】 大気中ダイオキシン類調査	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 国及び都は、広域的に監視調査を行っているが、市民の環境問題に対する関心が非常に強くなっている現状から、ピンポイントでの調査は、市民のニーズに応えるものとなっている。

【事業の概要】 (事業費及び特定財源/単位:千円)																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な内容</th> <th>事業費</th> <th>特定財源</th> <th>従事職員</th> <th>実績区分(単位)及び実績値</th> <th>単価(円)</th> <th>事業区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大気監視・測定調査</td> <td>14,110</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4局保守管理調査(5箇所)</td> <td>1式 14,110,000</td> <td>自任単委</td> </tr> <tr> <td>アイドリング防止ステッカー</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>配布数</td> <td>1,000 100</td> <td>自任単委</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分	大気監視・測定調査	14,110	0	1	4局保守管理調査(5箇所)	1式 14,110,000	自任単委	アイドリング防止ステッカー	100	0	0	配布数	1,000 100	自任単委																						<p>4局保守管理委託費11,655千円、 おおぞら号仮設電源設置委託費998千円、 測定局除草委託費37千円、 4局電気料544千円、 管理費18千円、 測定機器等修繕料680千円、 FAX使用料16千円、 通信費162千円</p>
主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分																																					
大気監視・測定調査	14,110	0	1	4局保守管理調査(5箇所)	1式 14,110,000	自任単委																																					
アイドリング防止ステッカー	100	0	0	配布数	1,000 100	自任単委																																					

【運営上の課題】  
市民の不安を取り除く監視調査ではあるが、大気の状態は広範囲にわたることから、ピンポイントでの調査の必要性について、再確認する状況にきている。

【評価指標】			
基本指標(単位) = 測定日数 (日)			参考指標(単位) = 市役所におけるガソリン使用量 (ℓ)
	13年度	14年度	15年度
目標達成率	100.0%	100.0%	0.0%
目標値	365	365	365
実績値	365	365	
【指標の考え方】 一般環境大気の常時監視が目的のため、指標を測定日数とした。	【指標の考え方】 平成11年度のガソリン使用量(59,030.4ℓ)を基準に、平成13年度から17年度までのガソリン使用量を5パーセント削減する。		
【目標値の設定根拠】 一般環境大気の測定は、JISで決められた長期の測定が必要な項目があるため、1年間(365日)とした。	【目標値の設定根拠】 府中市エコ・アクションプランのガソリン使用量削減目標		

【視点別評価】				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している	3:妥当な水準	3:適応している	3:代替可能性が低い	3:適当である
2:一部達成していない	2:一部妥当でない	2:一部適応していない	2:代替を検討すべき	2:一部過大・過小である
1:達成していない	1:妥当でない	1:適応していない	1:代替可能性が高い	1:過大・過小である

【総合評価】					
第一次評価(主管部課)					
<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>市民の環境問題に関する関心が非常に高い現状では、さらに測定調査の継続が望まれている。大気汚染は広域的な問題であり、長期間の測定を行わなければ、その地域での評価が出来ないことから、現在までの経過と今後の測定調査は、市内全域の大気汚染の状況を知る上で必要不可欠である。</td> </tr> </table>	評価	内容	4	市民の環境問題に関する関心が非常に高い現状では、さらに測定調査の継続が望まれている。大気汚染は広域的な問題であり、長期間の測定を行わなければ、その地域での評価が出来ないことから、現在までの経過と今後の測定調査は、市内全域の大気汚染の状況を知る上で必要不可欠である。	
評価	内容				
4	市民の環境問題に関する関心が非常に高い現状では、さらに測定調査の継続が望まれている。大気汚染は広域的な問題であり、長期間の測定を行わなければ、その地域での評価が出来ないことから、現在までの経過と今後の測定調査は、市内全域の大気汚染の状況を知る上で必要不可欠である。				

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】  
環境問題に関して市民が非常に関心が高いことから、当該事業を継続、公表していくことが、市民への不安解消と現状認識が図れ、さらに、市民への環境保全の啓発にもつながると思われる。もし、中止すると環境団体及び市民からの苦情が想定される。

【事務事業名】 <b>まちの美化事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 3 生活環境 (3) 環境美化	【開始年度】 昭和49年
	【主管部課】	

【実施根拠】 東京都屋外広告物条例	【事業目的】 美しい街づくりのため、美化意識の高揚を図ることを目的に、市民の協力を得ながら実施することを目的とする。また、美しい街づくりのため、違法広告物撤去を行っている。
----------------------	---

【類似・関連事業】 なし	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 各自自治会、関係団体の協力を得て、毎年市民の参加を得て実施している。 各市町村でも同様の事業を行っている。
-----------------	---

【事業の概要】 (事業費及び特定財源/単位:千円)

主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分				
多摩川清掃市民運動	831		0.4人	参加者数 (人)	4,643	179	自	任	単	直
市内一斉清掃市民運動	1,586		0.5人	参加者数 (人)	12,800	124	自	任	単	直
違反広告物撤去(市処理分)	1,249	1,248	0.4人	撤去枚数 (枚)	26,671	47	条	義	補	委
			人	( )		#DIV/0!				
			人	( )		#DIV/0!				

違反広告物撤去については、シルバー人材センターに週1回委託。また職員による撤去も随時行っている。  
清掃運動については、市民によるゴミの収集作業を行い、委託業者が回収を行う。

【運営上の課題】 両事業とも20年以上実施し、参加者については大幅な変化は見込めない安定した状況にある。 天候に左右されやすく、新住民の参加などの課題もある。
---

【評価指標】

基本指標(単位) = 市内一斉清掃参加者数(人)				参考指標(単位) = 多摩川清掃ごみ収集量(t)			
	13年度	14年度	15年度		13年度	14年度	15年度
目標達成率	80.2%	79.0%	0.0%	目標達成率	62.5%	57.9%	88.7%
目標値	16,200	16,200	16,200	目標値	5.5	5.5	5.5
実績値	13,000	12,800		実績値	8.8	9.5	6.2
【指標の考え方】 参加者数は、事業目的を達成する指標となる。 市内全域の市民について反映される。				【指標の考え方】 ごみ回収量はまちの美化の状況を反映する指標となる。			
【目標値の設定根拠】 過去27年間での最大参加者数を目標値とする。				【目標値の設定根拠】 過去29年間での最小回収量を目標値とする。			

【視点別評価】				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3:妥当な水準 2:一部妥当でない 1:妥当でない	3:適応している 2:一部適応していない 1:適応していない	3:代替可能性が低い 2:代替を検討すべき 1:代替可能性が高い	3:適当である 2:一部過大・過小である 1:過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)	
評点	府中市民の美化意識の高揚を図るためにも必要な事業となっている。 今後は美化条例施行後、市が行う推進事業の一つとなる。
4	

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】

市内一斉清掃や多摩川清掃など、環境美化に対する市民意識の高揚に努めるとともに、まちの美観を損ねるタバコや空き缶のポイ捨て、まち中の落書きなどは、今後、美化条例を制定し規制を行う。

【事務事業名】 <b>市民聖苑管理運営事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 3 生活環境 (4) 斎場・墓地	【開始年度】 平成8年度
【主管部課】 生活文化部住宅勤労課		

【実施根拠】 墓地、埋葬等に関する法律 府中市立府中の森市民聖苑条例	【事業目的】 火葬及び葬儀等を行う環境の整備を図り、低廉で質の高い葬儀等を実施して市民福祉の向上に寄与する。
【類似・関連事業】 多磨日華斎場他	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 利用率は高く、人生の終焉にふさわしい荘厳な葬儀を行えることから、市民からは好評を得ている。

【事業の概要】 (事業費及び特定財源 / 単位:千円)							
主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分	
府中の森市民聖苑費	216,195	77,548	6人	延べ利用者 (人)	3,592	60,188	自任単直
						#DIV/0!	
						#DIV/0!	
						#DIV/0!	
						#DIV/0!	

【運営上の課題】  
遺体の受け入れから法要まで、一環して葬儀が行える市民を中心とした施設である。市民に極めて好評で利用率も非常に高い。一方、冬期等繁忙期には、式場の待ち日数が長期に発生しており、その解決が大きな課題となっている。

【評価指標】			
基本指標(単位) = 府中の森市民聖苑式場等施設運営 (告別式 / 件数)			参考指標(単位) = ( )
	13年度	14年度	15年度
目標達成率	93.5%	96.0%	0.0%
目標値	903	903	903
実績値	844	867	
【指標の考え方】 式場の最大利用可能数に対して、利用実績値がおおむね95%程度であるため、目標値に近い数値が得られている。			【指標の考え方】
【目標値の設定根拠】 式場の最大利用可能回数を上限として目標とする			【目標値の設定根拠】

【視点別評価】				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3:妥当な水準 2:一部妥当でない 1:妥当でない	3:適応している 2:一部適応していない 1:適応していない	3:代替可能性が低い 2:代替を検討すべき 1:代替可能性が高い	3:適当である 2:一部過大・過小である 1:過大・過小である

【総合評価】	
第一次評価(主管部課)	
5	<p>5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである 2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである</p> <p>【今後の具体的な対策】 利用が多い分、冬期等繁忙期の式場等の待ち感がある。繁忙期に合わせた式場整備も必要だが、今後の具体的な対策としては、混雑期の解消のためには長期的な視野で考える必要があり、今後の死亡予測率の推移、死亡予測者数等を把握しながら、それらに対応できる施設内容を検討していきたい。</p>

【事務事業名】 <b>ものの有効利用促進事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安心でいきいきと暮らせるまちづくり 4 リサイクル・ごみ (1) ごみ減量・リサイクル	【開始年度】 平成8年度
	【主管部課】 環境安全部リサイクル課	

【実施根拠】	【事業目的】 ものの有効利用を促進し、循環型社会の構築を図ること
--------	-------------------------------------

【類似・関連事業】	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 粗大ごみから出る家具及び放置自転車の中から再生できるものを利用し、商品化を図り、市民に安価で提供しているが粗大ごみに出される家具の質の低下や、再生不可の自転が増加しており、再生率は低下している。
-----------	--

【事業の概要】 (事業費及び特定財源 / 単位: 千円)

主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
リサイクル自転車・家具の再生・販売	9,925	5,112	0.3人	再生数 (台) 1,894	5,240	
リサイクルショップ運営	8,310	0	0.3人	販売数 (件) 82,007	101	
			人	( )	#DIV/0!	
			人	( )	#DIV/0!	
			人	( )	#DIV/0!	

【運営上の課題】  
リサイクル事業を運営するに当たっては、拡充を図る程経費が高む一方、循環型社会を構築するためには欠かせない事業である。従って運営方法や再生方法等の見直しと改善が課題となっている。

【評価指標】

基本指標(単位) = 自転車・家具再生台数 (台)				参考指標(単位) = ( )			
	13年度	14年度	15年度		13年度	14年度	15年度
目標達成率	99.3%	84.0%	0.0%	目標達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
目標値	2,085	2,256	1,907	目標値			
実績値	2,071	1,894		実績値			
【指標の考え方】 再生台数を増やすことにより、リサイクルの推進のパロメーターとして捕らえている。				【指標の考え方】			
【目標値の設定根拠】 総合計画及びISO14001の目標値による。				【目標値の設定根拠】			

【視点別評価】				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3: 妥当な水準 2:一部妥当でない 1: 妥当でない	3: 適応している 2:一部適応していない 1: 適応していない	3:代替可能性が低い 2:代替を検討すべき 1:代替可能性が高い	3: 妥当である 2:一部過大・過小である 1: 過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)	
評点	目標値からみて、実績値が低下している原因の一つに粗大ごみとして出される家具の質の低下に加え、排出量の減少が見られ、自転車に至っては、放置自転車は増加しているものの、商品化可能な自転車の数は少なく粗悪なものが多く、再生台数の減少につながっているが代替事業は考えられない。
4	

5: 拡大して実施すべきである 4: 現状維持で実施すべきである 3: 規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2: 再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1: 廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】  
家具類については、原形にこだわらず、可能な限り再生するなどの作業改善と自転車についても部品の有効利用を図ることや再生台数確保に向け作業改善を図る必要があるが、コスト面からも、省ける作業や無駄な努力は使わないなど作業点検を実施させるなどの対策を具体化する。



<b>[事務事業名]</b> <b>ごみ収集事業</b>	<b>[府中市総合計画]</b> 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 4 リサイクル・ごみ (2) ごみ処理	<b>[開始年度]</b> 昭和59年 委託開始
<b>[主管部課]</b> 環境安全部清掃課		

<b>[実施根拠]</b> 府中市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例	<b>[事業目的]</b> ・衛生的で効率的なごみ処理の推進
<b>[類似・関連事業]</b> なし	<b>[事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)]</b> ・概ね市民への反応は良好である。 ・都内でボックス収集は府中市だけである。 ・家庭ごみ有料化の流れ。

<b>[事業の概要]</b> (事業費及び特定財源 / 単位:千円)						
主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
廃棄物収集運搬	754,165	0	17.4人	処理量 (t) 78,020	9,666	自 義 単 委
有害ごみ収集運搬	20,019	0	1.2人	処理量 (t) 93	215,258	自 義 単 委
粗大ごみ収集運搬	0	0	17.9人	処理量 (t) 1,638	0	自 義 単 直
へい死犬猫処理	5,473	0	0.6人	処理量 (匹) 810	6,757	自 義 単 委
し尿処理収集運搬	12,084	0	0.9人	処理量 (kl) 559	21,617	自 義 単 委

<b>[運営上の課題]</b> ・ボックスの設置場所に対して市民の理解が得られない場合がある。 ・ボックスの24時間捨てられる便利さから、市外の人による不法投棄がある。
--

<b>[評価指標]</b>							
基本指標(単位) = ごみ処理量 (t)				参考指標(単位) = ( )			
	13年度	14年度	15年度		13年度	14年度	15年度
目標達成率	98.5%	99.0%	#DIV/0!	目標達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
目標値	77,626	78,965	82,208	目標値			
実績値	78,835	79,751		実績値			
<b>[指標の考え方]</b> 本事業は、廃棄物の発生を抑制し、再生利用を促進するとともに、廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にすることによって、市民の健康で快適な生活を確保することが目標であるため				<b>[指標の考え方]</b> なし			
<b>[目標値の設定根拠]</b> 一般廃棄物処理基本計画				<b>[目標値の設定根拠]</b> なし			

<b>[視点別評価]</b>				
1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3: 妥当な水準 2: 一部妥当でない 1: 妥当でない	3: 適応している 2: 一部適応していない 1: 適応していない	3: 代替可能性が低い 2: 代替を検討すべき 1: 代替可能性が高い	3: 適当である 2: 一部過大・過小である 1: 過大・過小である

<b>[総合評価]</b>	
第一次評価(主管部課)	
評点	ごみ処理事業は必須の事業である。今後も現状を維持しつつ、より衛生的、効率的な処理方法がないか模索していく必要がある。
4	

5: 拡大して実施すべきである 4: 現状維持で実施すべきである 3: 規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2: 再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1: 廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

**[今後の具体的な対策]**  
ボックス収集方式を維持するには、地域の市民による維持、管理をするための意識高揚を図る必要がある。



【事務事業名】 <b>消防団事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 5 防災・消防 (2) 消防	【開始年度】 昭和29年
【主管部課】 環境安全部 防災課		

【実施根拠】 消防組織法、府中市消防団に関する条例、府中市消防団員互助会補助金交付要綱、府中市消防団運営交付金交付要綱	【事業目的】 自治体消防としての位置付けであり、消火活動・延焼防止活動・人命救助・防災訓練等を実施する。
--	---

【類似・関連事業】	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 自治体消防として全国で組織されている。市民の生命、財産を守るための事業で市民で組織された消防団は必要である。また、消防団であっても、事業の内容を明確にして市民の理解と協力が必要である。近年、団員のサラリーマン化が増えている傾向となっているが、本市では、団員の確保が地域の協力により図られている。
-----------	--

【事業の概要】 (事業費及び特定財源 / 単位: 千円)

主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
消防団活動費	31,471		1.45人	消防団員 (人)	420	自 義 単 直
防火思想普及費	1,296		0.7人	団員、来賓者 (人)	453	自 義 単 直
消防ポンプ車購入費	75,668	17,730	0.1人	車両 (台)	5	自 義 補 直
消防団員厚生事業	4,094		0.65人	団員、参加者 (人)	2,443	自 任 単 補
消防団運営交付金	6,490		0.1人	団員 (人)	420	自 義 単 直

・消防団員420名の年間報酬、出勤手当、消火活動に欠かせないホースの購入、ポンプ車の燃料・点検費。  
・年はじめ恒例の出初式に要する経費。・年次計画によるポンプ車の買い替え。・団員相互の親睦と連携を図るための、家族慰安、運動会事業。・消防団の維持運営を円滑にし、自治体消防としての任務を果たすための経費など。

【運営上の課題】 他市では団員の確保が難しいところもでてきている、本市では地域性もあるが、定数の確保は図られている。今後も地域に密着した魅力ある消防団として活動していく。
--

【評価指標】

基本指標(単位) = 団員数 (人)	参考指標(単位) = ( )						
目標達成率	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
目標値	420	420	420	目標値			
実績値	420	420	420	実績値			
【指標の考え方】 条例で定めた団員数を目標値とした。	【指標の考え方】						
【目標値の設定根拠】 条例	【目標値の設定根拠】						

【視点別評価】

1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している	3:妥当な水準	3:適応している	3:代替可能性が低い	3:適当である
2:一部達成していない	2:一部妥当でない	2:一部適応していない	2:代替を検討すべき	2:一部過大・過小である
1:達成していない	1:妥当でない	1:適応していない	1:代替可能性が高い	1:過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)	
評点	安全安心のまちづくりには、災害時の安全確保の要となる市民により組織された消防団が不可欠である。効率的な消防や災害活動を行うためにもまた、団員の安全確保のためにも装備の充実が必要である。また、団員の確保や意識の高揚を図るため、魅力ある消防団とする必要がある。
4	

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】

ポンプ車や防火衣等を更新し、装備の充実や団員の安全確保を図る。 魅力ある消防団とするため、福利厚生等の充実を図る。 地域の防災リーダーとしての活動を支援する。
---

【事務事業名】 <b>自転車利用推進事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 6 交通安全・地域安全 (1) 交通安全	【開始年度】 昭和55年
【主管部課】 環境安全部地域安全対策課		

【実施根拠】 府中市自転車の放置防止に関する条例 自転車総合利用計画（計画中）	【事業目的】 駅周辺の自転車駐車場の整備を進めるとともに、ルールを守らない放置自転車の撤去活動を強化する。また、府中駅周辺については新たな自転車対策を実施することにより、市民の良好な生活環境の確保を図る。さらに、自転車走行レーンの確保及び新たな自転車駐車場の設置に努め、環境にやさしい自転車利用を推進する。
---	--

【類似・関連事業】 なし	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 自転車の放置により交通弱者の方々には安心して歩道を歩けない状況である。自転車駐車場の整備をはじめとする早急な放置自転車対策が求められている。
-----------------	---

【事業の概要】 (事業費及び特定財源/単位:千円)						
主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
誘導整理業務委託 1060円	25,702	1,604	3人	延べ従事時間 (時間) 24,248	1,060	委
" 900円	22,247		" 人	延べ従事時間 (時間) 24,719	900	委
撤去・移動業務	5,405		" 人	撤去・移動業務 (台) 10,029	539	委
搬送業務	2,190		" 人	搬送業務 (台) 7,113	308	委
			人			

特定財源は、自転車撤去・保管料収入。

【運営上の課題】 駅や店舗等に買物客用の自転車駐車場が十分整備されていない状況にある。店舗等への指導を徹底したい。
--

【評価指標】

基本指標(単位) = 自転車駐車場利用率(府中駅北自転車駐車場)	参考指標(単位) = 乗入れ台数に見合う自転車駐車場を設置している駅 (駅数)																																
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> </tr> <tr> <td>目標達成率</td> <td>39.5%</td> <td>39.6%</td> <td>#VALUE!</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>39.5</td> <td>39.6</td> <td></td> </tr> </table>		13年度	14年度	15年度	目標達成率	39.5%	39.6%	#VALUE!	目標値	100	100	100	実績値	39.5	39.6		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> </tr> <tr> <td>目標達成率</td> <td>61.5%</td> <td>69.2%</td> <td>#VALUE!</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </table>		13年度	14年度	15年度	目標達成率	61.5%	69.2%	#VALUE!	目標値	13	13	13	実績値	8	9	
	13年度	14年度	15年度																														
目標達成率	39.5%	39.6%	#VALUE!																														
目標値	100	100	100																														
実績値	39.5	39.6																															
	13年度	14年度	15年度																														
目標達成率	61.5%	69.2%	#VALUE!																														
目標値	13	13	13																														
実績値	8	9																															
【指標の考え方】 自転車駐車場の利用率向上は自転車利用者の利便の向上とイコールであるとともに、放置自転車削減のキーワードである。	【指標の考え方】 市内にある13の駅周辺に、乗入れ台数に見合うだけの自転車駐車場の整備することにより、自転車の放置を抑制し市民の良好な生活環境の確保を図ることを目的とした事業である。																																
【目標値の設定根拠】 自転車駐車場の利用率向上を目標とする。	【目標値の設定根拠】 駅周辺へ乗入れる全ての自転車の駐車場確保を目標とする。																																

1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している 2:一部達成していない 1:達成していない	3:妥当な水準 2:一部妥当でない 1:妥当でない	3:適応している 2:一部適応していない 1:適応していない	3:代替可能性が低い 2:代替を検討すべき 1:代替可能性が高い	3:適当である 2:一部過大・過小である 1:過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)	
評点	自転車駐車場の整備については、駅周辺の地権者の協力が不可欠であり、思うように整備が進んでいないのが現状である。引き続き協力を求め自転車利用者のニーズにあった自転車駐車場の整備を図りたいと考える。放置自転車の撤去活動については、現行の自転車保管所の収容能力に限界があり有効な撤去活動ができない状況である。早急な拡張が必要と考える。一方、自転車利用者からは、短時間の買物をする際、目的の店舗に来客用の自転車駐車場がなく不便との意見が多く寄せられている。今後これら自転車の利便の向上を図る対策が必要と考える。
5	

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】

環境にやさしい自転車の利用推進を図るため、自転車総合利用計画を策定し、自転車走行レーンの確保及び自転車駐車場の整備に努める。また、府中駅周辺においては、放置自転車を駅利用者等の長時間放置と、買物等の短時間放置に分け対策を講じ、特に買物客等短時間の自転車利用者の利便の向上につながるような対策を実施する。合わせて、自転車保管所の拡張を行い、マナー違反である放置自転車の強固な撤去活動を実施する。

【事務事業名】 <b>地域安全体制整備事業</b>	【府中市総合計画】 第2章 安全で快適に住めるまちづくり 6 交通安全・地域安全 (2) 地域安全対策事業	【開始年度】 昭和36年
【主管部課】 環境安全部地域安全対策課		

【実施根拠】 平成15年度「生活安全条例」制定に向けて、平成15年2月から関係課の職員で安全安心まちづくり条例(仮称)職員検討委員会を立ち上げ3回の会議を開催した。	【事業目的】 防犯協会や地域の住民による自主的なパトロールなど、地域での安全体制づくりを支援する。また、防犯灯の設置を進め、夜間の安全性を高めることを目的とします。
---	---

【類似・関連事業】 交通安全運動事業、災害予防運動事業	【事業を取り巻く状況(市民の反応、国・都・他市の状況等)】 犯罪の発生件数が年々増加傾向にある。府中市内、都内、全国的な統計でも同一の傾向にある。犯罪の検挙率の低下に伴い、市、警察のだけの行政機関の取り組みでなく、市、市民、事業者、防犯関係団体との連携、協働による犯罪から市民を守る体制づくりの「生活安全条例」の制定が、各市で進められている。(三多摩では、7市が制定済)
--------------------------------	--

【事業の概要】 (事業費及び特定財源/単位:千円)

主な内容	事業費	特定財源	従事職員	実績区分(単位)及び実績値	単価(円)	事業区分
防犯灯管理費管理委託料	40,953	0	1.51人	防犯灯設置数 (本)	9,621	4,257 委
補助金防犯灯電気料	2,700	0	0.120人	対象灯数 (灯)	375	7,200 補
補助金防犯運動事業	1,142	0	0.54人	会員世帯数 (世帯)	58,375	20 補
防犯灯整備事業費設置等工事費	6,328	0	0.7人	設置灯数 (灯)	72	87,889 委
			人	( )	#DIV/0!	

都営住宅や車返団地等の集合住宅に設置してある防犯灯は、市では管理していますが、一般市民も利用できる団地内道路に設置している場合、電気料の95パーセントを補助している。

【運営上の課題】 府中市も都市化が進み人口増加とともに、住民の連帯意識の希薄化、国際犯罪組織の進出等により犯罪の発生件数が年々増加している。
---

【評価指標】

基本指標 = 平成4年犯罪発生件数3,312件	参考指標(単位) = 防犯灯設置可能灯数																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標達成率</td> <td>84.2%</td> <td>74.8%</td> <td>#VALUE!</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>3312</td> <td>3312</td> <td>3312</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3932</td> <td>4430</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		13年度	14年度	15年度	目標達成率	84.2%	74.8%	#VALUE!	目標値	3312	3312	3312	実績値	3932	4430		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標達成率</td> <td>87.1%</td> <td>87.6%</td> <td>#VALUE!</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>10984</td> <td>10989</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>9566</td> <td>9621</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		13年度	14年度	15年度	目標達成率	87.1%	87.6%	#VALUE!	目標値	10984	10989		実績値	9566	9621	
	13年度	14年度	15年度																														
目標達成率	84.2%	74.8%	#VALUE!																														
目標値	3312	3312	3312																														
実績値	3932	4430																															
	13年度	14年度	15年度																														
目標達成率	87.1%	87.6%	#VALUE!																														
目標値	10984	10989																															
実績値	9566	9621																															
【指標の考え方】 犯罪発生件数が、防犯活動の成果の一つと考えられる。	【指標の考え方】 防犯灯の設置状況を指標とした。 平成13年度道路延長326,825m(5m未満の道路) 平成14年度道路延長329,672m(5m未満の道路)																																
【目標値の設定根拠】 平成4年の犯罪発生件数。このころよりパブルの崩壊による犯罪検挙人員が、増加傾向にある。少なくともこのころの状況に戻すことが、目標。	【目標値の設定根拠】 幅員5m未満の道路については、約30m間隔で防犯灯を設置しています。道路総延長を30で割るとおおむね目標値が算出できます。																																

【視点別評価】

1 目標達成度	2 経済・効率性	3 必要性	4 代替性	5 妥当性
3:達成している	3:妥当な水準	3:適応している	3:代替可能性が低い	3:適当である
2:一部達成していない	2:一部妥当でない	2:一部適応していない	2:代替を検討すべき	2:一部過大・過小である
1:達成していない	1:妥当でない	1:適応していない	1:代替可能性が高い	1:過大・過小である

【総合評価】

第一次評価(主管部課)					
<table border="1"> <tr> <th>評点</th> <td>市民の防犯活動は、PTAや青少対、自治会など各団体において行われてきた。今までは、警察や市に野行政機関に任せておけば、何とかなるだろう。という考え方が多かった。また、団体同志の横のつながりもあまりなかった。警察からの情報の提供がなかなか出してもらえないなど市民との連携が難しい状況にあった。犯罪発生件数が年々増加傾向にあると同時に犯罪者の検挙率も低下している。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> </tr> </table>	評点	市民の防犯活動は、PTAや青少対、自治会など各団体において行われてきた。今までは、警察や市に野行政機関に任せておけば、何とかなるだろう。という考え方が多かった。また、団体同志の横のつながりもあまりなかった。警察からの情報の提供がなかなか出してもらえないなど市民との連携が難しい状況にあった。犯罪発生件数が年々増加傾向にあると同時に犯罪者の検挙率も低下している。	2		
評点	市民の防犯活動は、PTAや青少対、自治会など各団体において行われてきた。今までは、警察や市に野行政機関に任せておけば、何とかなるだろう。という考え方が多かった。また、団体同志の横のつながりもあまりなかった。警察からの情報の提供がなかなか出してもらえないなど市民との連携が難しい状況にあった。犯罪発生件数が年々増加傾向にあると同時に犯罪者の検挙率も低下している。				
2					

5:拡大して実施すべきである 4:現状維持で実施すべきである 3:規模、内容などを部分的に見直すべきである  
2:再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである 1:廃止又は休止など抜本的に見直すべきである

【今後の具体的な対策】 「市民生活の安全確保に関する条例」の制定が9月に予定されています。この条例は、市、市民、事業者等、関係機関及び防犯関係団体が互いに協力し、連携した活動を推進することにより犯罪の防止を行う。具体的には、生活安全推進会議において警察の犯罪の情報提供等により効率の良いパトロール等の実施、市民の防犯意識の高揚を図る等です。
---